

平成 21 年 3 月 31 日現在

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2006～2009

課題番号：18320057

研究課題名 (和文) 南北朝楽府の多角的研究

研究課題名 (英文) A Multifaceted Study of Yuefu in the Northern and Southern Dynasties

研究代表者

佐藤大志 (SATO TAKESHI)

広島大学・大学院教育学研究科・准教授

研究者番号：90309625

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学

キーワード：楽府・南北朝・『隋書』音楽志

1. 研究計画の概要

本研究では、文学・歴史・思想・音楽などの各領域の研究者が協力分担し、幅広い領域の知見を結集することによって、南北朝期の楽府と楽府詩の問題を、多角的な視点から解明することを企図する。その具体的な検討課題として、本研究では『隋書』音楽志の詳細な分析と訳注の作成を重点的に行い、その分析と検討を踏まえた上で、研究分担者がそれぞれ六朝から唐にかけての楽府関係資料の収集、楽府詩の創作面・表現面からの研究、楽府の思想的背景の研究、楽府の音楽的側面の研究などを進めている。

2. 研究の進捗状況

すでに『隋書』音楽志上・中の訳注を終え、これまで南朝側と北朝側の宮廷音楽が、どのように展開、変容してきたのかを解明してきた。現在は、その南北両王朝の宮廷音楽がどのように統合、展開していくのかを解明すべく、巻下の訳注作業を行っている。

3. 現在までの達成度

② おおむね順調に進んでいる。

訳注稿の進捗が予定よりも、やや遅れてはいるものの、計画全体に大きな変更はなく、ほぼ順調に進んでいる。

4. 今後の研究の推進方策

計画の遅れに対応して、訳注検討のための共同研究会を、これまでよりも多く開催することによって、研究計画の完了を目指す。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

- ① 柳川順子・川合安・大形徹・佐竹保子『隋書』音楽志訳注稿(三)、中国学研究論集、査読無、22号、2009、掲載予定
- ② 狩野雄・山寺三知・佐藤大志・林香奈『隋書』音楽志訳注稿(二)、中国学研究論集、査読無、20号、2008、pp.51-97
- ③ 佐藤大志・長谷部剛・佐竹保子・釜谷武志奈、『隋書』音楽志訳注稿(一)、中国学研究論集、査読無、18号、2007、pp.47-85

〔学会発表〕(計 1 件)

- ① 佐藤大志、折楊柳考、中国中世文学会平成 20 年度研究大会、2008 年 10 月 25 日、広島大学(東広島市)